

サステイ  
ナブル  
エリア  
デザイン

コミュ  
ニティ  
アーキ  
テクト

# SAD CA

## 日本建築学会

会場 建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）  
日時 2009年11月28日（土）13時00分～17時30分

サステイナブルエリアデザインを仮に歴史・景観・生態・社会環境も含めた「地域の環境・空間・文化システムを継承するデザイン」と定義すれば、日本での議論の始まりは1960年代後半からの日本のコミュニティや景観の問題にまで遡り、1970年代から地球環境保全やエコロジーの問題へと広く拡大し、1990年代からは様々なNPO活動も加わっている。この経過の中には様々な先駆的な成果が多くあり、これらを省察・評価して、新たな展望を築いていくことが重要である。そして現在は、環境や地域のマネジメントの手法と具体的な制度が学際的な課題になると同時に、地域においては、地域の環境・空間・文化システムを継承した様々な「まちづくり活動」や「まちづくり行政」、「地域再生・活性化活動」、「コミュニティ・ビジネス」などが展開されている。このような背景を踏まえ、この度、本特別研究委員会では、日本における都市計画や公共空間・公共施設に関する計画の制度や職能の課題も視野にいれながら、日本型あるいはその地域に相応しい「担い手」（コミュニティアーキテクト）のあり方を考えるにあたって、全国各地で実践的に行われてきた、また行なわれている「地域の環境・空間・文化システムを継承するデザイン」（サステイナブルエリアデザイン）活動報告及び提案の募集を実施した。今回、これらの提案報告の中から講評委員会にて選定した特に優れた内容のものについて、発表、講評を行うとともに、日本のサステイナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクトについて議論を深めていく。なお、当日配布資料には提出・選定されたすべての提案報告を収録する。

### プログラム

総合司会 山崎寿一（神戸大学） 鷗飼 修（滋賀県立大学）  
記録 中野茂夫（京都市芸繊維大学） 北野幸樹（日本大学）  
開会  
開会挨拶 佐藤 滋（まちづくり支援建築会議会長 建築学会会長）  
趣旨説明 宇杉和夫（特別研究委員会委員長）

#### 第1部 基調講演

##### 基調講演 1

【地域再生と建築の計画・設計：コミュニティ・アーキテクトの目標】  
布野修司（滋賀県立大学 建築計画委員会委員長）

##### 基調講演 2

【まちづくりとサステイナブルエリアデザイン、その担い手制度】  
西村幸夫（東京大学 まちづくり支援建築会議運営委員長）

#### 第2部 提案報告講評

##### 講評者

三橋伸夫（宇都宮大学 農村計画委員会委員長）  
樋口和男（埼玉県 特別研究委員会委員）  
木多道宏（大阪大学 特別研究委員会幹事）

##### 休憩

#### 第3部 パネルディスカッション

##### パネリスト：

布野修司（滋賀県立大学 建築計画委員会委員長）  
西村幸夫（東京大学 まちづくり支援建築会議運営委員長）  
提案報告参加者 椎原晶子（NPO法人たいとう歴史都市研究会）  
同上 宮定 章（阪神・淡路大震災まち支援グループ  
まち・コミュニケーション）  
同上 前田 眞（NPO法人まちづくり支援えひめ）  
同上 三浦清史（日本建築家協会埼玉地域会）

##### コメンテーター：

糸長浩司（日本大学）  
高村雅彦（法政大学 地域文脈形成・計画史小委員会）  
岡部明子（千葉大学 同上）

##### まとめ

加藤仁美（東海大学 地域文脈形成・計画史小委員会）

主催 サステイナブルエリアデザインと  
コミュニティアーキテクト特別研究委員会

共催 都市計画委員会 建築計画委員会  
農村計画委員会 まちづくり支援建築会議

### 「提案報告書」資料代・参加費

会員4,000円、会員外5,000円、登録メンバー4,500円、学生2,500円

### シンポジウム申し込み方法

E-mailまたはFAXで、催し物名称、氏名、所属、連絡先（住所、メールアドレス、電話・FAX番号）を明記のうえ、下記宛にお申し込み下さい。  
申込先：日本建築学会研究事業グループ 浜田 TEL：03-3456-2057  
FAX：03-3456-2058 E-mail：hamada@aij.or.jp

### 提案報告

- 1 嶋村泰輝 実践事例を通しての建築家の役割の考察 -勝島運河倶楽部での活動について-
- 2 武田実代子 生き続けていく命ある全体とコミュニティアーキテクト  
～地域の過去と未来をつなぐ、公共工事と地域のまちづくりの為に～
- 3 江川直樹 三つの地域的再生デザイン-浜甲子園・芦屋若宮・御坊-（事例・報告）
- 4 鈴木俊治 伝統的空間を継承するデザインの課題と実現方策  
～サステイナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクトについての一考察～
- 5 井原友建 農村地域の空間形成検討の実例と地域空間再生に向けた担い手の職能に関する  
実務者としての立場からの提言
- 6 田邊寛子 葛飾柴又帝釈天参道周辺の景観まちづくり
- 7 手島瓦 里山を楽しみながら竹林の保全
- 8 青木仁 サステイナブルエリアデザイン（SAD）とコミュニティアーキテクト（CA）  
の時代的意義とそれぞれが備えるべき要件に関する試論
- 9 市川均 地方都市におけるまちづくり市民事業のかたち  
小林愛佳 ～共同建替え事業こっぽろ土澤～
- 10 市川均 地域協働による地域運営の基盤づくり～ちちぶまちづくり工房の取り組み～
- 11 安田孝 地域産業遺産とコミュニティアーキテクト
- 12 朽木宏 ～近代化遺産を活用したまちづくり～ 足袋づくりが盛んだった行田の一例
- 13 亀山芳香 滋賀県湖北地域における空き家を活用したサステイナブルエリアデザイン
- 14 鶴崎健一 官と民の実務家の協働による街づくり制度の提案
- 15 東海林伸篤 老舗映画館の閉館とコミュニティシアターとしての再生
- 16 中野茂夫 持続可能な社会の実現に向けたまちづくりの課題とコミュニティアーキテクト  
～京都市のまちづくり交付事業を事例とした一考察～
- 17 川窪広明 サステイナブルエリアデザインを学ぶ実地教育方法について  
～大手前大学において実施した3事例～
- 18 酒井信一郎 この街の修景について
- 19 奥村隆史 私の考える日本のサステイナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクト  
～地域固有の空間形成、まちづくりの仕組み・手法とその担い手像～
- 20 小幡敏信 持続性を持つことの意味
- 21 飯田太郎 稲城・南山における区画整理とエリアマネジメントによる次世代型街づくり  
～少子・高齢・人口減少時代の新住宅市街地の形成～
- 22 永吉守 「炭都」の風景・心象を次世代に  
～NPO法人大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ～
- 23 三ツ江匡弘 サステイナブルエリアデザインに向けた啓発・普及について  
～小樽都市文化研究会の活動～
- 24 三浦清史 許認可を通して旧鍋島家住宅が教えてくれたこと
- 25 矢作武信 市街地に今も生きる江戸時代のまちづくり成果からの提案
- 26 前田眞 松山市における多面的な共生まちづくり～坂の上の雲のまちづくりを通して～
- 27 前田眞 コミュニティワークの実践～縁側プロジェクトを通して～
- 28 前田眞 しまなみ3島における住民参加型自転車モデルコースづくり事業と住民活動
- 29 森川稔 「土の人」としてのコミュニティ・アーキテクトへの期待
- 30 山下馨 神楽坂の動態的界隈保全と持続可能なまちづくり
- 31 熊澤貴之 合意形成に基づく包括的都市建築デザインマネジメントシステム
- 32 黒崎晋司 商業者（商店街）による地域コミュニティ形成に向けた取組
- 33 高田剛司 サステイナブルエリアデザインにおける企業コミュニティの役割
- 34 杉本弘文 モンゴルにおける集住と生活・居住環境づくり  
川岸梅和  
35 川岸梅和 アメリカにおけるエコビレッジ型コウハウジングの取り組み  
北野幸樹
- 36 藤島祥枝 嶺岡牧におけるカルチュラルネイチャー・スチュアードによる  
グローバルな地域再生
- 37 網原一寛 環境共生のまちづくりによる臨海地域の再生 ～尼崎21世紀の森づくり～
- 38 古川隆 地域づくりコンソーシアム構築に関するモデル研究
- 39 足立千佳子 農のある暮らしを目指して-仙台ならではのアグリライフ実現のために-
- 40 高木章 埼玉・住まい・まちづくり交流展
- 41 宮定章 阪神・淡路大震災から15年 復興まちづくりに関わって学んだこと
- 42 時田芳文 地域に生き続けると言う論と思想
- 43 稲葉修 地域のまちなみガイドライン作成のための<気づきツール>作成  
5つの着眼点（レイヤー）とキーワード
- 44 下田祥裕 千坪の庭から見えたこと（ローカル駅型エリアマネジメント10年目の実感）  
原拓也
- 45 安部貞司 市民と一体となった「府中建築文化フォーラムのまちづくり活動」
- 46 鈴木清史 まちづくりに都市計画的感覚を持つ建築家の果たす、重要な役割
- 47 青木義脩 サステイナブルエリアデザインとまちづくりアーカイブ  
松田完司
- 48 椎原晶子 まちの生活文化の継承・発展にむけて、歴史的建物を核にしたとりくみ  
～東京、谷中の事例から～
- 49 牧野桂子 バラといえば青井、青井といえばバラのまちづくり
- 50 小林郁雄 小規模分散自立生活圏の多重ネットワーク社会
- 51 市川毅 日本建築学会関東支部埼玉支所の活動について
- 52 秋元孝夫 多摩NTでのオルタナティブ住宅整備の実験  
～70年代の住宅の整備手法の提案と実践～